



環境課 ☎66♦1122

10月はクリーン排水推進月間です

生活排水を考える

☆汚れは私たちの生活から出ています

私たちは、毎日の生活の中で、台所、トイレ、洗たくなどさまざまなお家で水を使い、知らず知らず川や海に流して水を汚しています。こういうと、まさかと思う方もいるかもしれませんが、それは本当のことです。

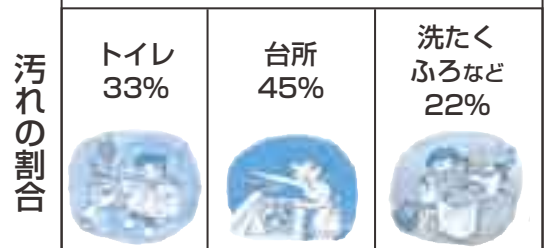
昔に比べて、私たちのライフスタイルが変わり、食事にハンバーガーやパゲティーなど油をたくさん含んだものが多くなり、洗剤を使う量が増えてきたり、食べ残しの量が増えてきたりしたため台所から出る汚れがますます多くなっています。

今から30〜40年ほど前は、工場から汚れた水が、そのまま川に流されて、多くの問題を起こしました。しかし、法律などで基準が決められ、最近ではいぶんきれいになりました。そのため今では、家庭から出される生活排水の汚れが水の汚れの57%を占めています。

その対策として、公共下水道の整備や合併処理浄化槽の設置が考えられますが、私たちのちよっとした気づかいが大きな効果を生み、海をきれいにすることができます。

家庭からできるよこれ

1人が1日のうちに
家庭で流すよごれた水の量
200ℓ



☆多くの人のほんのわずかな気づかいで！

下水道や合併処理浄化槽が整備されていても、家庭から流した汚れた水を完全にきれいにすることはできません。

例えば、私たちの食べ残しを水に流したとき、魚が住める水質にするには、食べ残しの小皿のしょう油に対して浴槽一杯半分の水、一杯のみそ汁に対して浴槽4.1杯分の水、コップ一杯の牛乳では浴槽12杯分の水が必要です。

しかし、こうした汚れも私たち一人ひとりが、毎日の生活の中で水をできるだけ汚さないように気づかうことで海や川を汚れから守

ることができず。さあ、今日から家庭でできる生活排水対策を実行しましょう。

 <p>洗剤やシャンプーは使い過ぎないようにする。</p>	 <p>残った食用油は、牛乳パックの中に新聞紙やぼろ布を詰めてしみ込ませ、燃えるゴミとして出す。</p>	 <p>目の細かい三角コーナー、ストレーナーや水きりネットを使用して生ゴミを流さない。</p>	 <p>油などで汚れた食器はゴムベラや新聞紙、古い電話帳などを利用して、拭き取ってから洗う。</p>
--	---	--	--